



施工業者様用

〈施工説明書〉

H20 H24 3方枠 片引き戸・引き違い戸・引き分け戸(上吊りタイプ)専用枠材

ドレタス

調整枠

【標準】片側ソフトクローズ 【オプション】両側ソフトクローズ・ソフトクローズ無し

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。
- ・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・補強の飼木(現場調達)を入れる。
ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。
- ・躯体に欠点がないことを確認する。
枠材固定のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。
- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

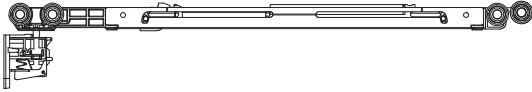
- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

■ 梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

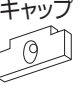
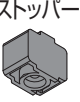
枠本体セット							別梱包				
部材名		縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板付 (アルミ) 	鴨居 レール (アルミ) 	部材名		ケーシング セット	
入 数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	1本	—	入 数	片引き戸	縦用4本	横用2本
	引き違い戸	2本	—	—	1本	1本	1本		引き違い戸	縦用4本	横用2本
	引き分け戸	—	2本	2本	1本	1本	—		引き分け戸	縦用4本	横用2本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—	備 考 (部材品番等)		—	—

ビスセット(枠本体セットに同梱)								
		袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	透明
部材名			木ダボ	組み立て ビス	下枠固定 ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ
			 6mm 35mm	 62mm φ3.8mm	 25mm φ3.5mm	 47mm φ3.8mm	 7mm L50mm	 φ16
セット品番								
入 数	片引き戸	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個
	引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
	引き分け戸	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個
備 考 (部材品番等)			—	—	使用しません	枠と躯体の 固定に 使用できます。	—	—



金具セット(枠本体に同梱)【標準:片側ソフトクローズ】									
部材名			吊車 	振れ止め 金具 	戸じゃくり キャップ 	引き分け ストッパー 	上レール 取り付け ビス (皿ビス)  18mm φ3.5mm	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット) 
セット品番									
入 数	片引き戸	ZYTKS	1個	1個	2個	—	6本	1	1
	引き違い戸	ZYTHS	2個	2個	2個	—	12本	2	2
	引き分け戸	ZYTLS	2個	2個	2個	1個	12本	2	2
備 考			ZYTF21	ZYTSG21	ZYTNC01	ZYTLS21	ZYTA01	ZYTSCS21	ZYTTG21

※両側ソフトクローズにしたい場合は下記セットをご発注ください。

金具セット(枠本体に同梱)【オプション:両側ソフトクローズ】									
部材名			吊車 	振れ止め 金具 (床付用) 	戸じゃくり キャップ 	引き分け ストッパー 	上レール 取り付け ビス (皿ビス)  18mm φ3.5mm	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット) 
入 数	片引き戸	セット品番	1個	1個	2個	—	6本	1	2
	引き違い戸	セット品番	2個	2個	2個	—	12本	2	4
	引き分け戸	セット品番	2個	2個	2個	1個	12本	2	4
備 考			ZYTF21	ZYTSG21	ZYTNC01	ZYTLS21	ZYTA01	ZYTSCW21	ZYTTG21

両側ソフトクローズ
片引き戸 施工
8ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
引き違い戸 施工
14ページに進んでください。

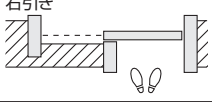
両側ソフトクローズ
引き分け戸 施工
20ページに進んでください。

引き手方向の確認

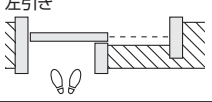
片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

※片引き戸の場合のみ。

右引き



左引き



片引き戸 施工…4ページに進んでください。

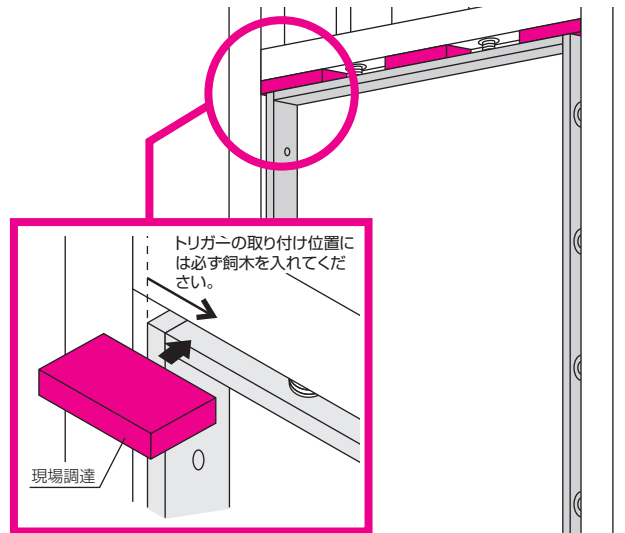
引き違い戸 施工…10ページに進んでください。

引き分け戸 施工…16ページに進んでください。

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

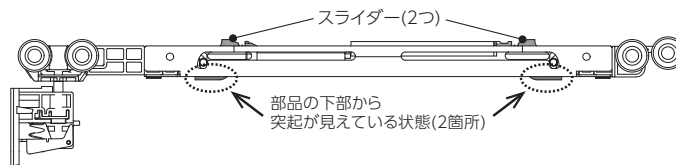


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

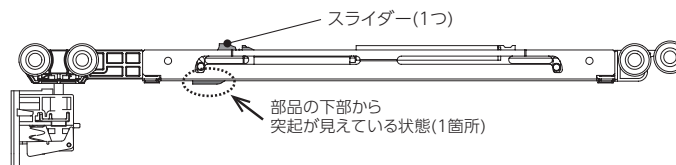
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けてください。

正常状態

両利きタイプ



片利きタイプ

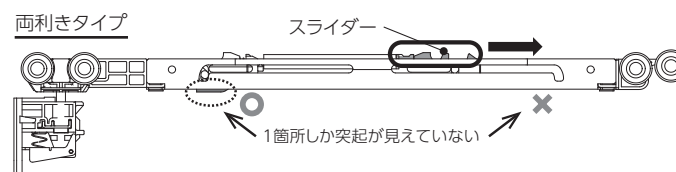


※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

エラー状態

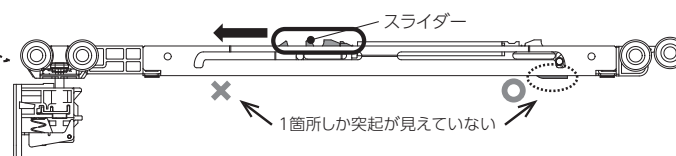
「カチッ」と音がするまでスライダーを引っ張ると「正常状態」になります。

両利きタイプ



片利きタイプの 場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダーを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

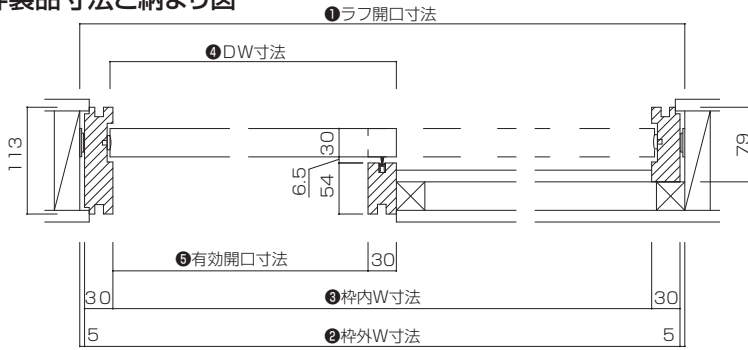
【片引き戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

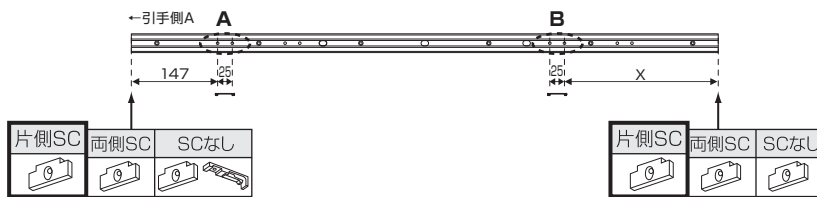
■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



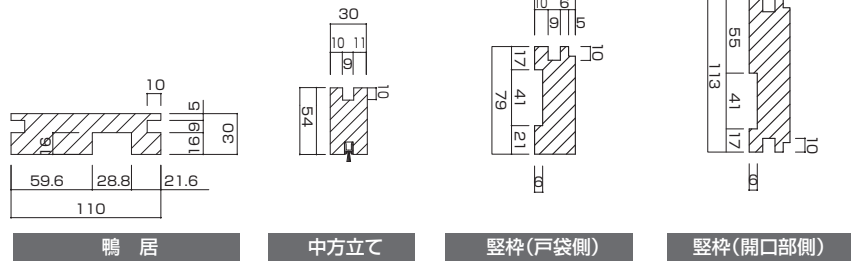
製品寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
①ラフ開口寸法	1,834	1,654	1,460	1,334	1,200
②枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
③枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,264	1,130
④DW寸法	900	810	713	650	583
⑤有効開口寸法	867	777	680	617	550
X寸法	579	489	392	329	262

■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

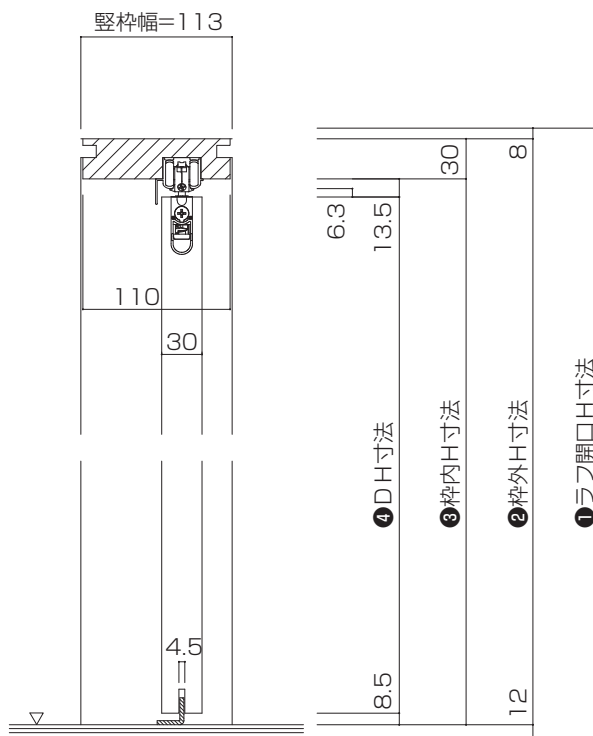
片側ソフトクローズ仕様	A
両側ソフトクローズ仕様	A・B



※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

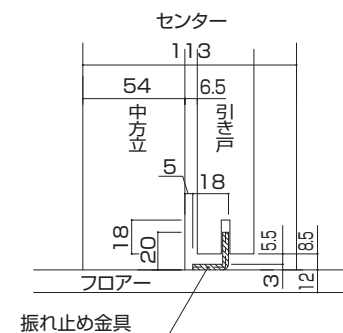
縦断面図

(単位:mm)



製品寸法	H20 DH1,983	H22 DH2,183	H24 DH2,348
①ラフ開口寸法	2,055	2,255	—
②枠外H寸法	2,035	2,235	2,400
③枠内H寸法	2,005	2,205	2,370
④DH寸法	1,983	2,183	2,348

振れ止め金具取り付け位置

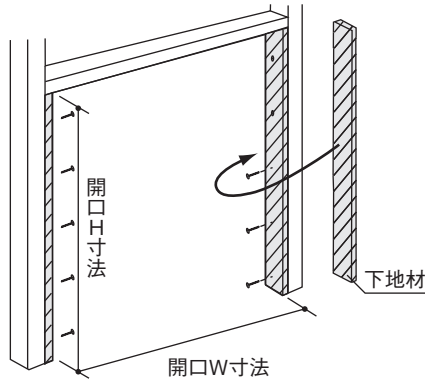


施工手順

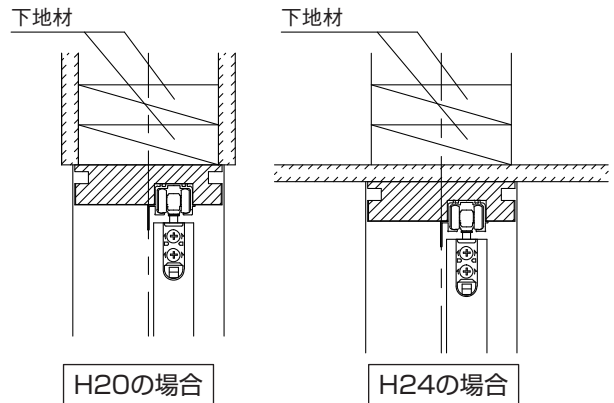
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を
取り付け、納まり図
参照の上、枠外寸法に
見合った開口を
設けてください。

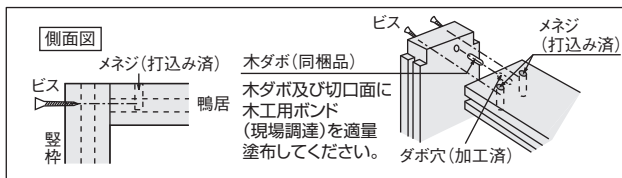


⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。



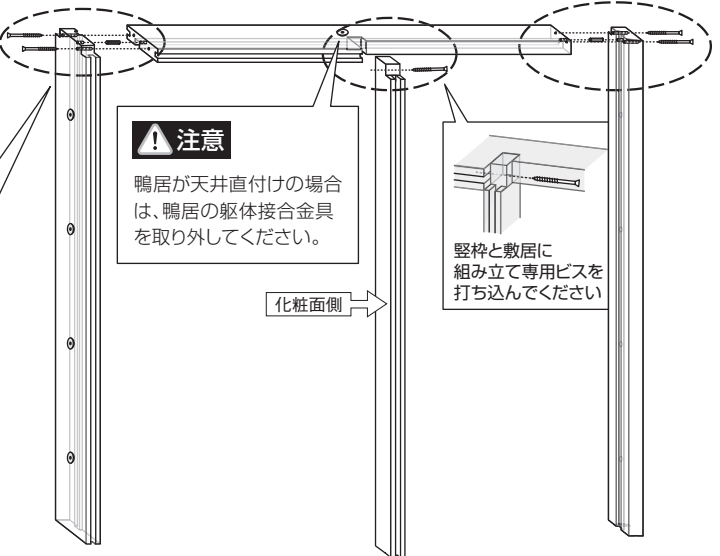
2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。
鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



⚠ 注意 鴨居が天井直付けの場合は、鴨居の躯体接合金具を取り外してください。

縦枠と敷居に組み立て専用ビスを打ち込んでください



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

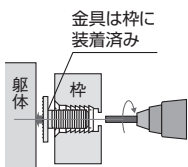
3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

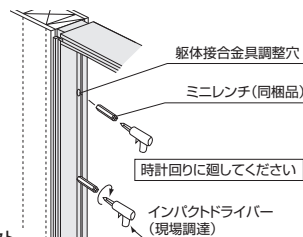
① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

👉 **ポイント** 金具で突っ張らせて枠を仮固定する



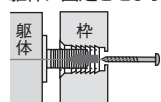
同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。



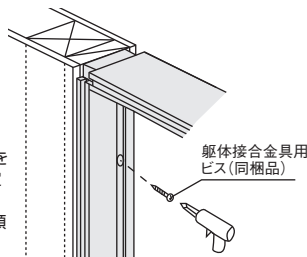
⚠ 注意 インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。

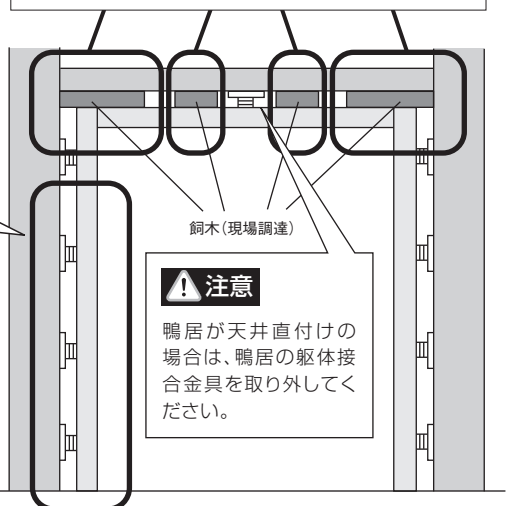


枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。
(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木 (現場調達) を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



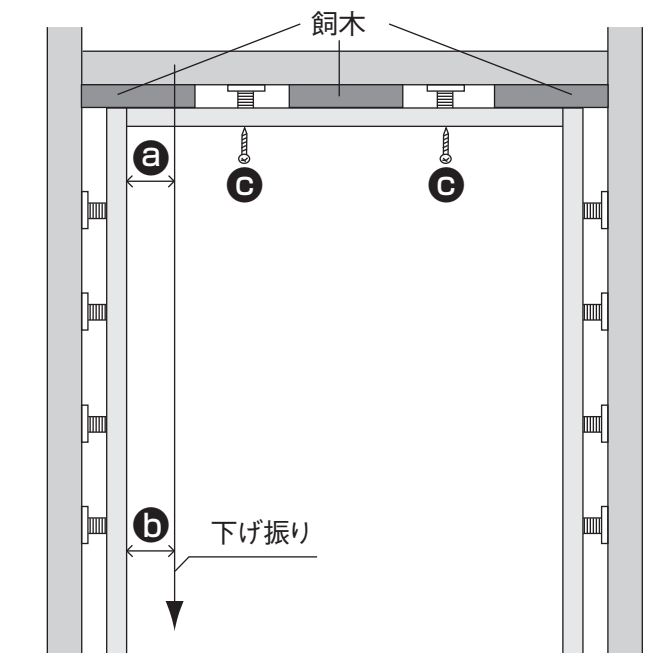
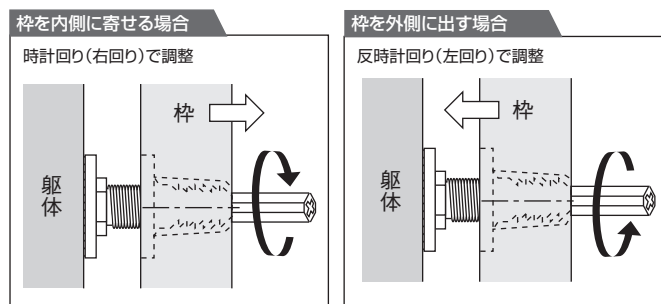
⚠ 注意

鴨居が天井直付けの場合は、鴨居の躯体接合金具を取り外してください。

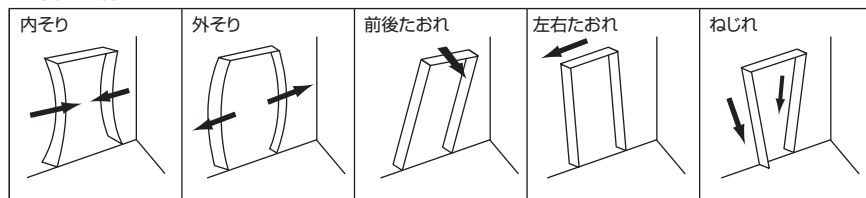
4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 竖枠を固定後、水準器などを使用し、竖枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、竖枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

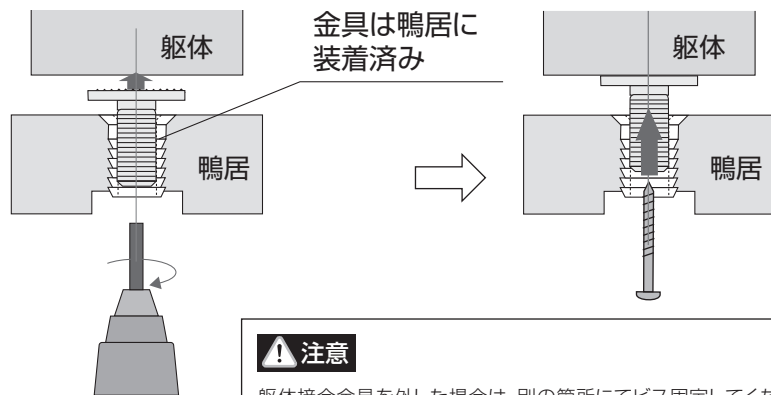
- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



※下記の様なことがないようにご注意ください。



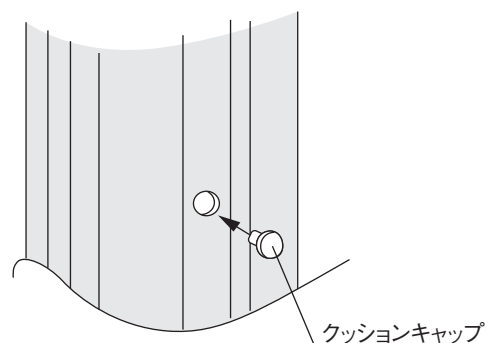
- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。
竖枠と同様の手順で鴨居を固定します。



注意

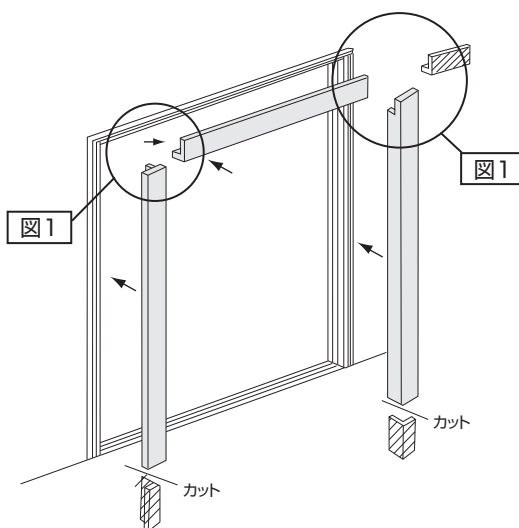
躯体接合金具を外した場合は、別の箇所にてビス固定してください。
※レールが入るため、ビス頭が飛び出さないようご注意ください。

- ③ 竖枠を調整後、ビス穴に
クッションキャップを取り付けます。



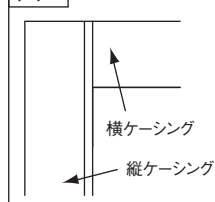
5 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整しカットしてください。
寸法を調整したケーシングを木工用ボンド(現場調達)を使用し、取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

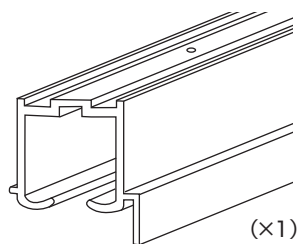


6 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

幕板付きの鴨居レール(アルミレール)になります。



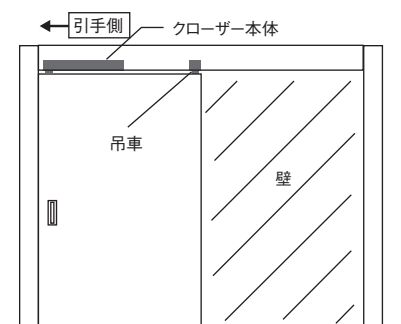
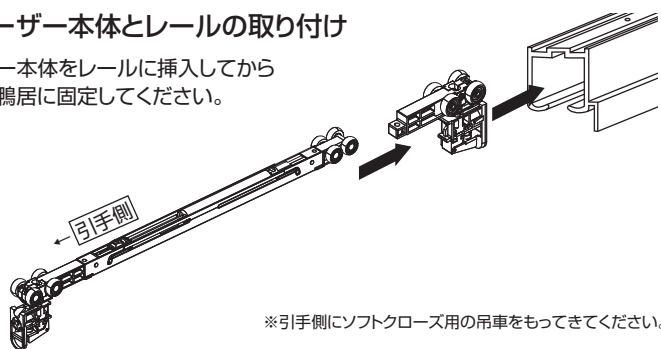
■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。吊車を挿入した後、鴨居レールを枠にとりつけてください。

片側ソフトクローズ 仕様 標準

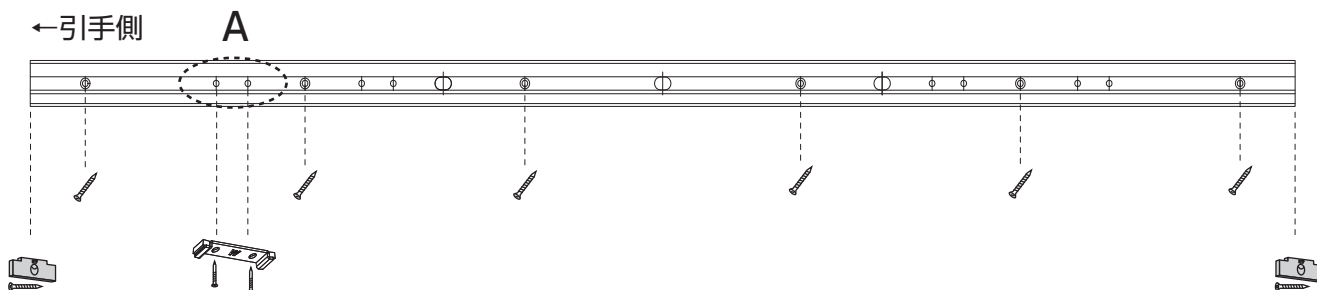
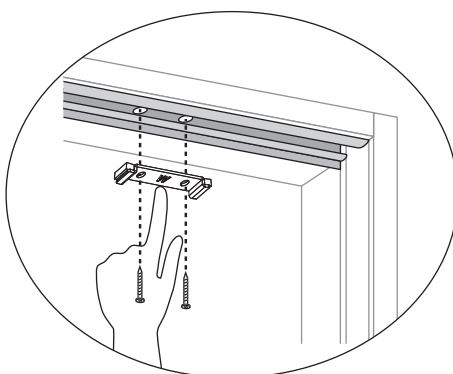
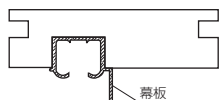
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



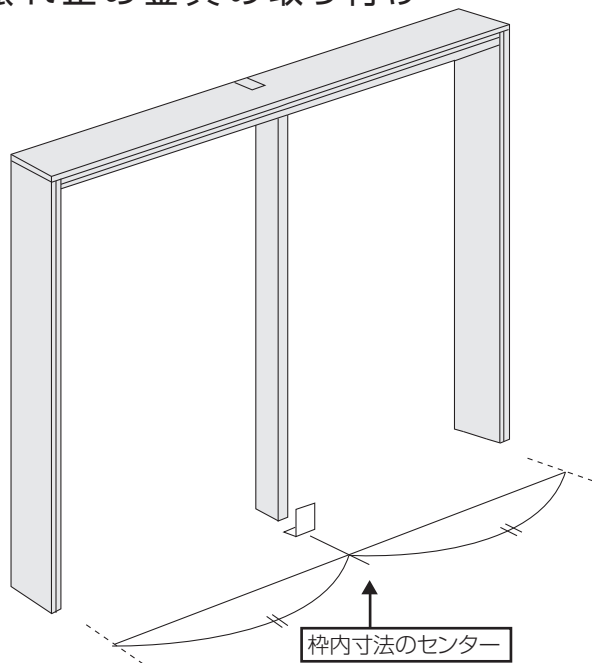
②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。

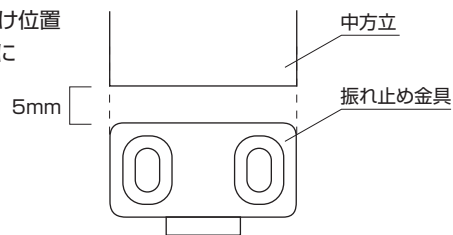


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

7 振れ止め金具の取り付け

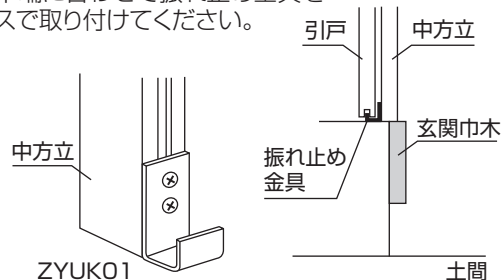


振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



上吊り中方立取り付け用振れ止め金具(別売品)の場合

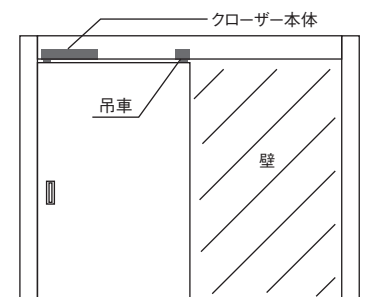
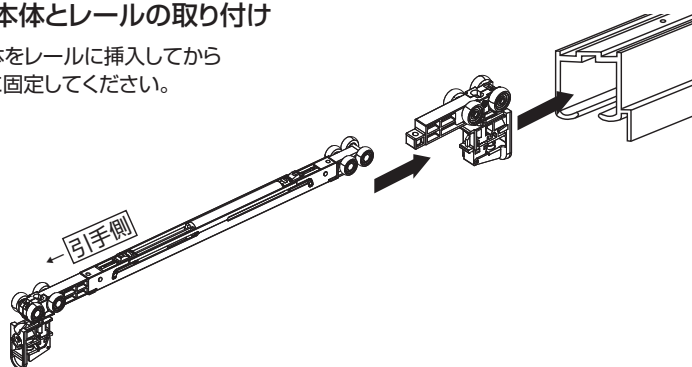
中方立の下端に合わせて振れ止め金具を
同梱のビスで取り付けてください。



両側ソフトクローズ 仕様 オプション

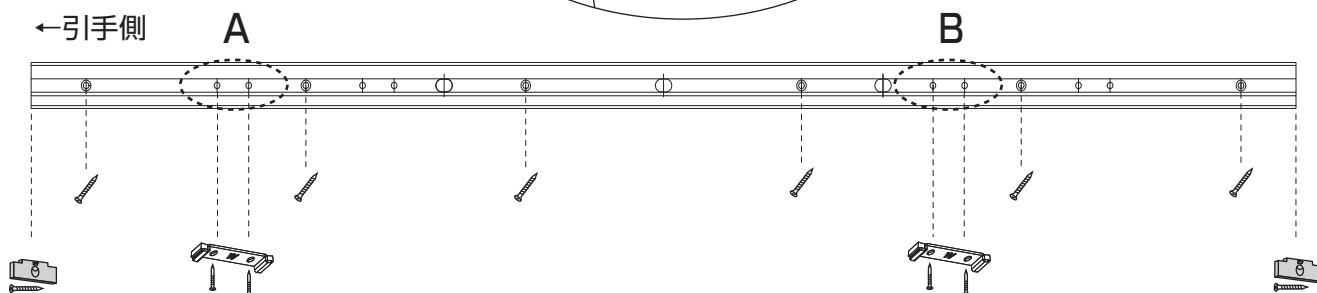
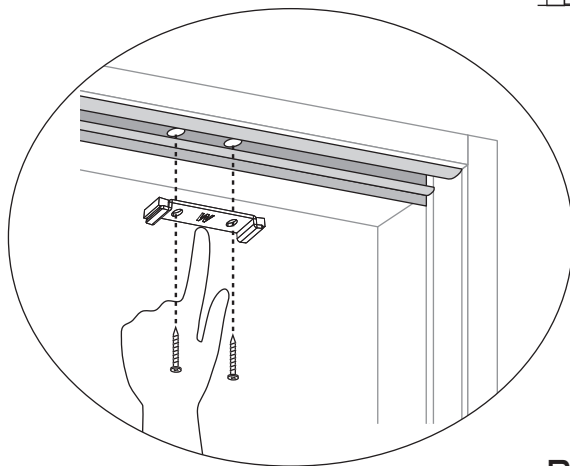
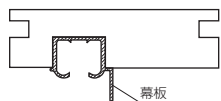
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

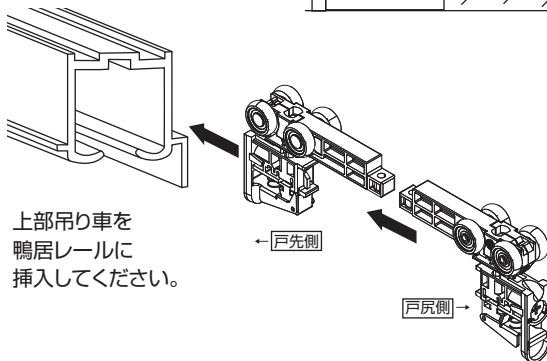
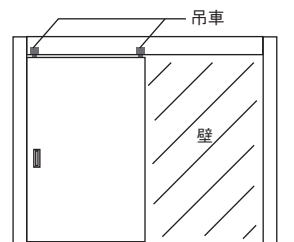
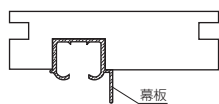
レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて取り付け
てください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

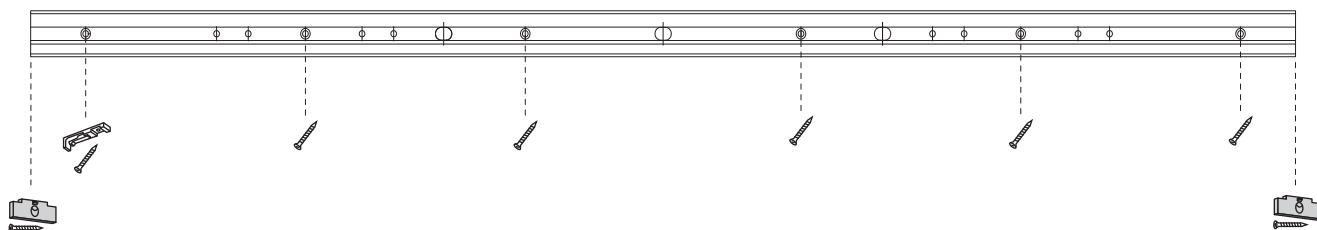
①鴨居レールの取り付け

レールに付いている
幕板を、鴨居芯側に
向けて取り付けてく
ださい。



上部吊り車を
鴨居レールに
挿入してください。

←引手側



※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

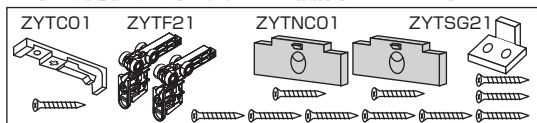
⚠ 注意

レール取り付け後に
吊り車の向きの変更
は出来ませんので
確実に取り付けを行
ってください。



＜同梱品＞

上吊り片引き戸用金具セット(品番:ZYTKM)



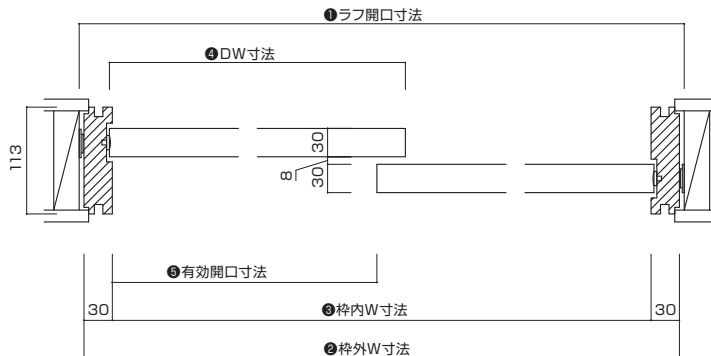
【引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

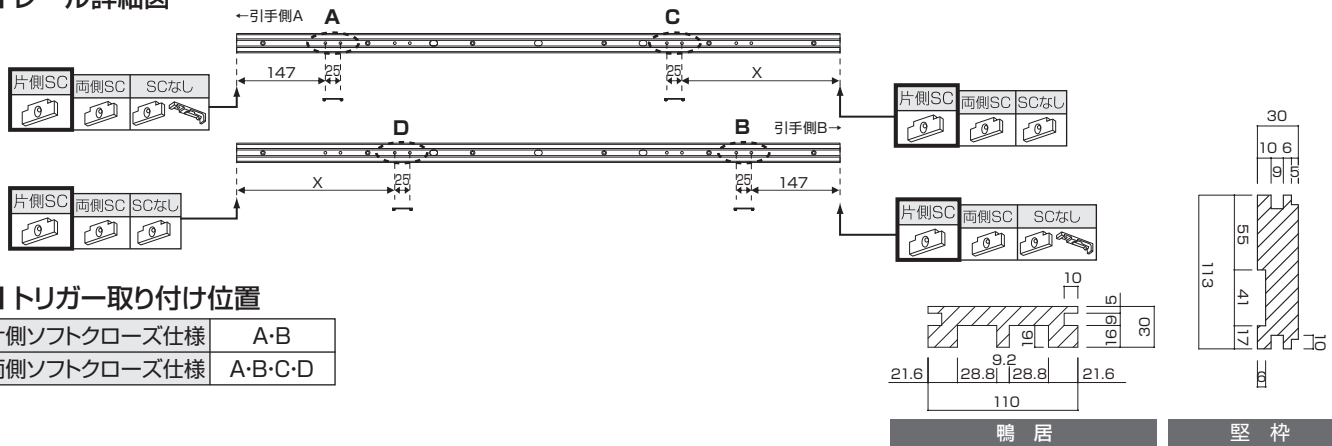
(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図



製品寸法	1,824	1,644
①ラフ開口寸法	1,834	1,654
②枠外W寸法	1,824	1,644
③枠内W寸法	1,764	1,584
④DW寸法	900	810
⑤有効開口寸法	867	777
X寸法	579	489

■ レール詳細図



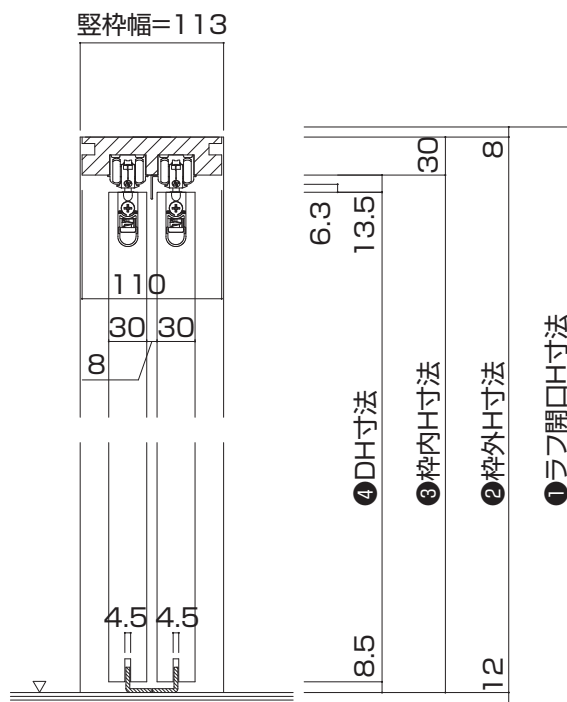
■ トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D

※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

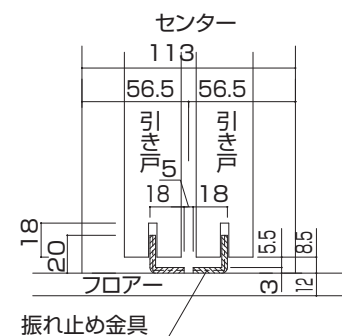
縦断面図

(単位:mm)



製品寸法	H20 DH1,983	H22 DH2,183	H24 DH2,348
①ラフ開口寸法	2,055	2,255	—
②枠外H寸法	2,035	2,235	2,400
③枠内H寸法	2,005	2,205	2,370
④DH寸法	1,983	2,183	2,348

振れ止め金具取り付け位置

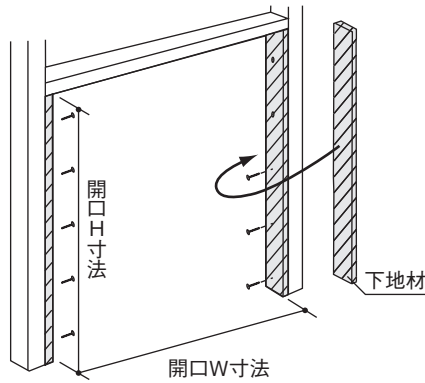


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

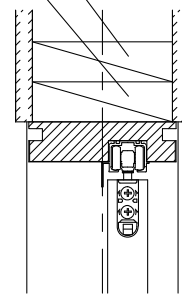
1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



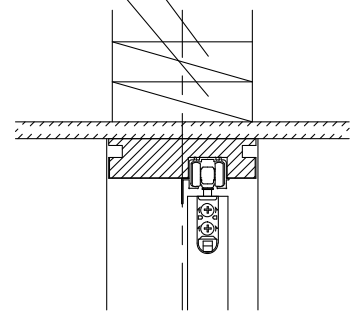
注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

下地材



H20の場合

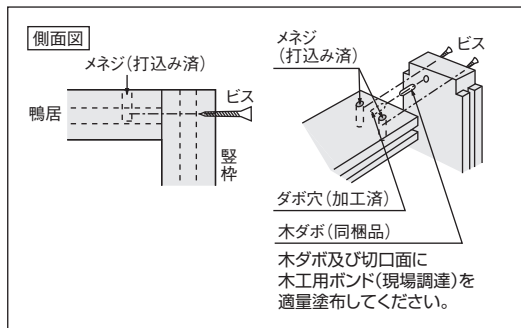
下地材



H24の場合

2 枠材の組み立て

- 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、堅枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



注意 鴨居が天井直付けの場合は、鴨居の躯体接合金具を取り外してください。

3 枠材の仮固定と堅枠のビス固定

4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

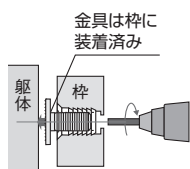
本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

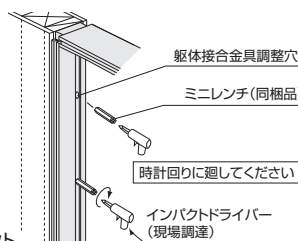
開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する



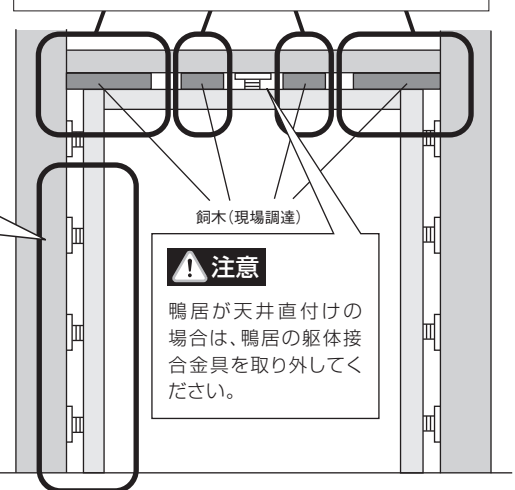
同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。



注意 インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。



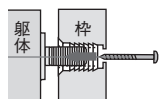
注意 ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



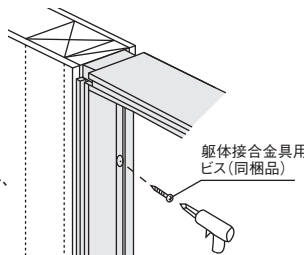
注意 鴨居が天井直付けの場合は、鴨居の躯体接合金具を取り外してください。

② 堅枠のビス固定

堅枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(堅枠→調整→鴨居の順に固定します。)



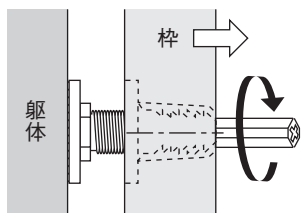
4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 竖杵を固定後、水準器などを使用し、竖杵、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、竖杵と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、●=●となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

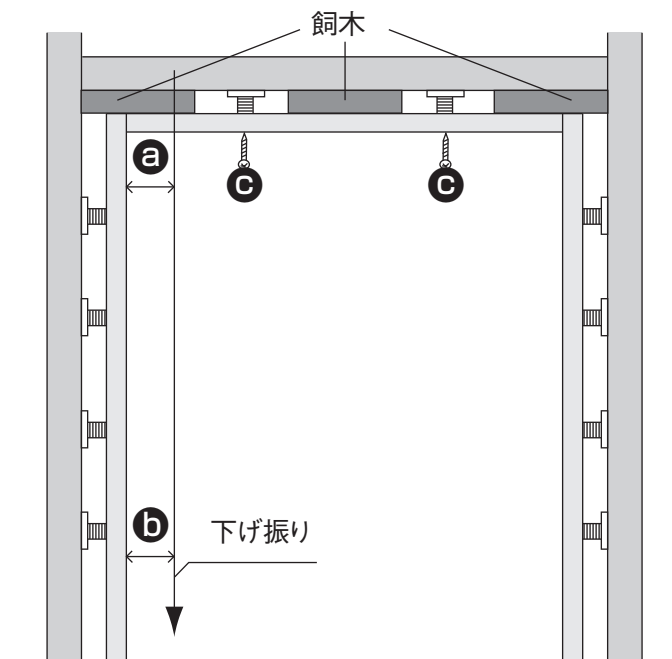
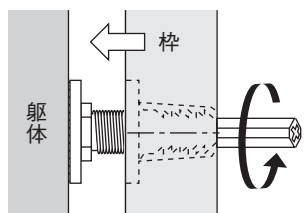
杵を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

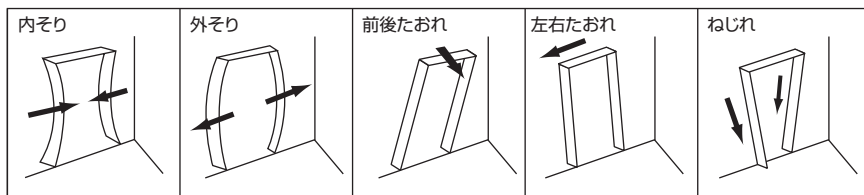


杵を外側に出す場合

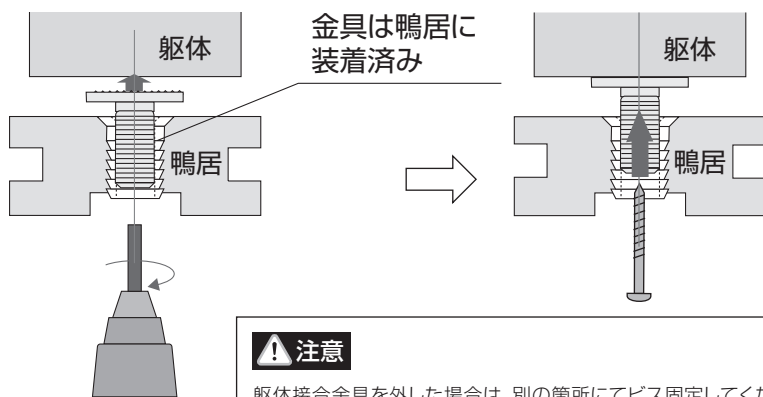
反時計回り(左回り)で調整



※下記の様なことがないようにご注意ください。



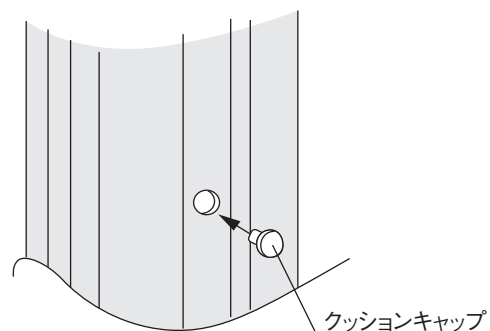
- ② ●は建りを調整後、最後に固定してください。
竖杵と同様の手順で鴨居を固定します。



注意

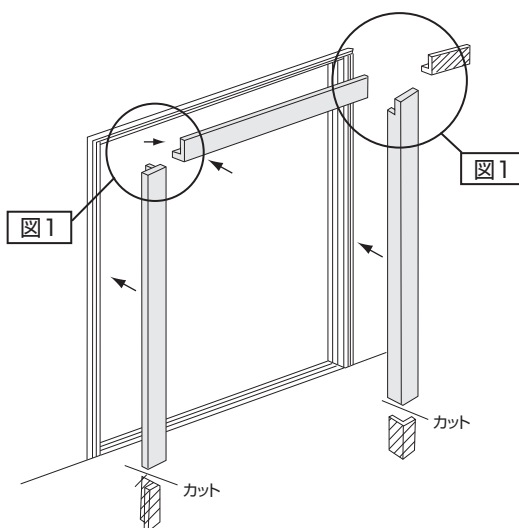
躯体接合金具を外した場合は、別の箇所にてビス固定してください。
※レールが入るため、ビス頭が飛び出さないようご注意ください。

- ③ 竖杵を調整後、ビス穴に
クッションキャップを取り付けます。



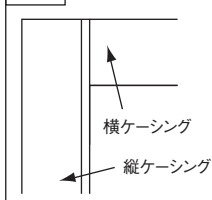
5 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整し
カットしてください。
寸法を調整したケーシングを木工用
ボンド(現場調達)を使用し、
取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1



6 鴨居レールの取り付け

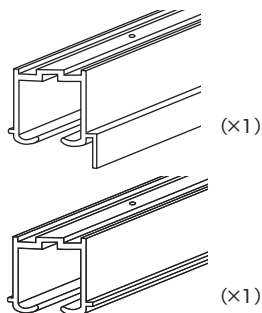
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。

■吊車の挿入

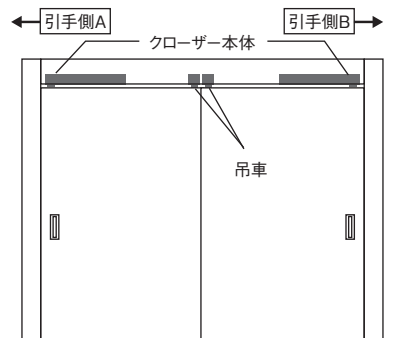
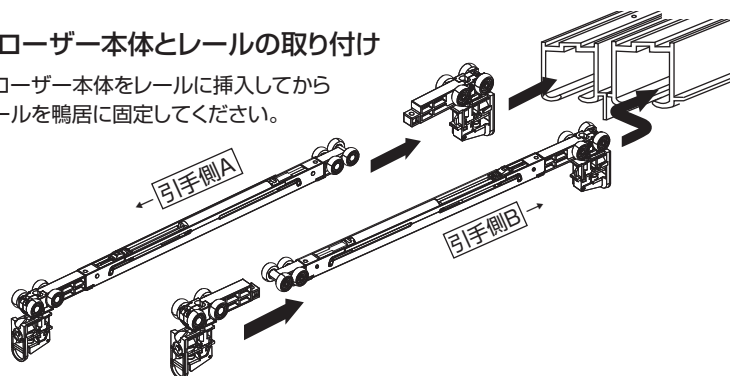
鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。吊車を挿入した後、鴨居レールを枠にとりつけてください。



片側ソフトクローズ 仕様 標準

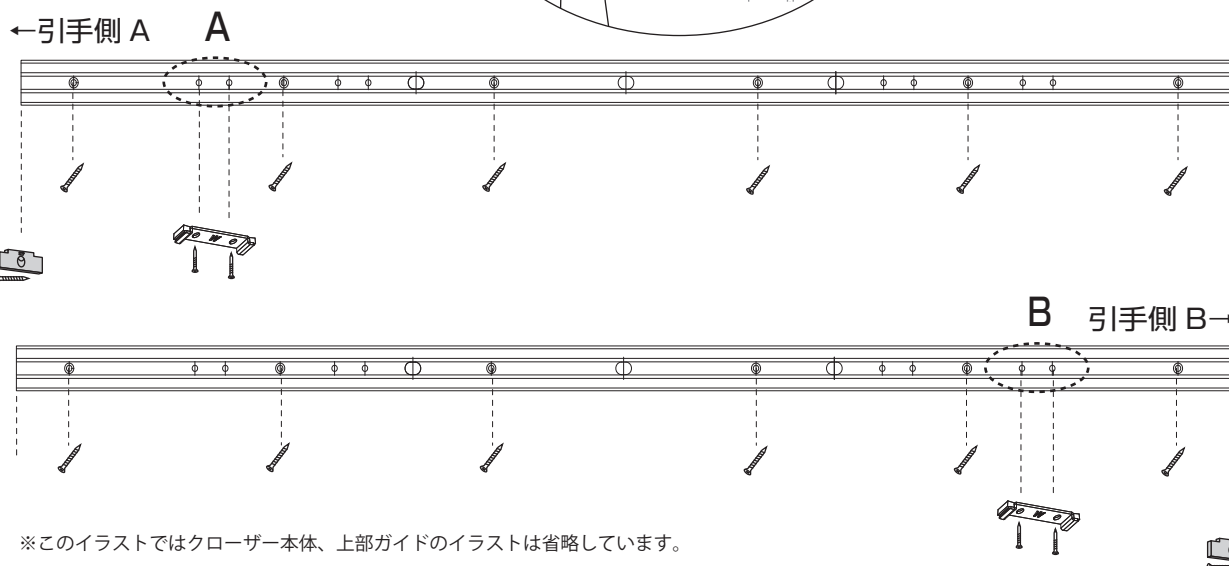
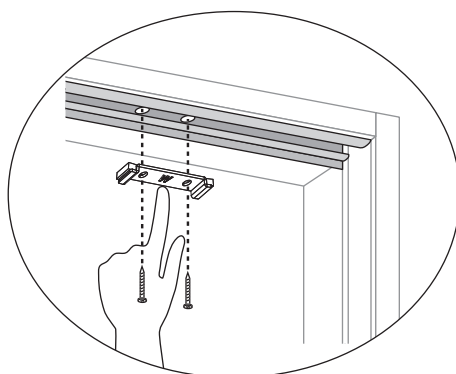
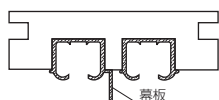
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



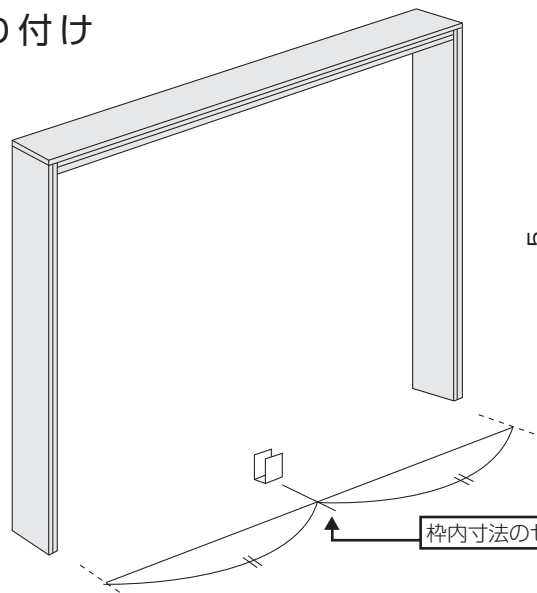
②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて
取り付けてください。引き違い戸では片方の
レールには幕板はつきません。

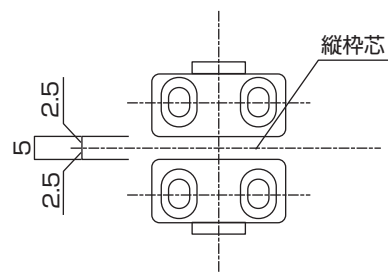


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

7 振れ止め金具の取り付け



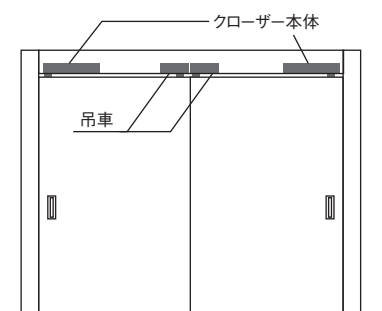
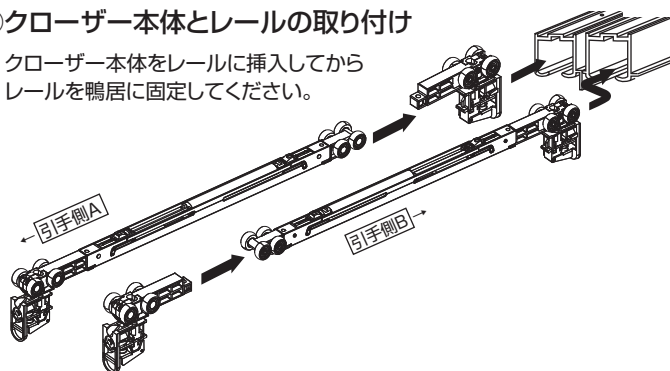
振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに固定してください。



両側ソフトクローズ 仕様 オプション

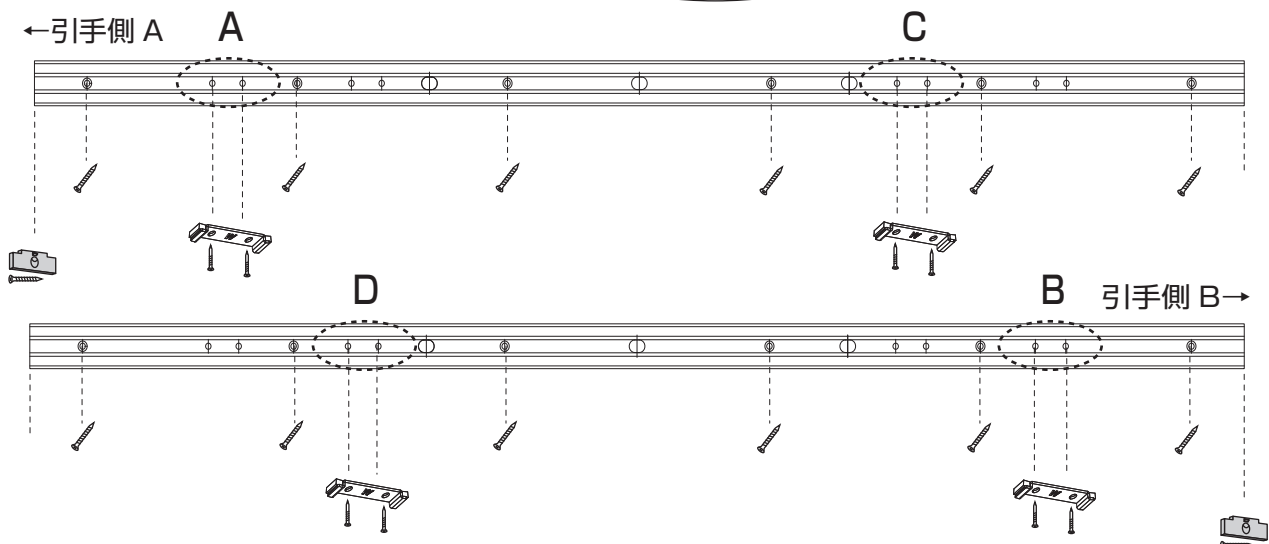
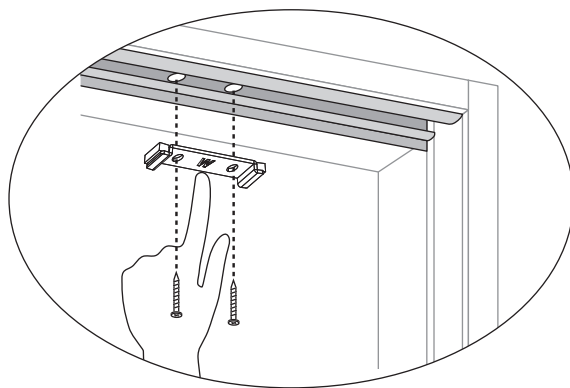
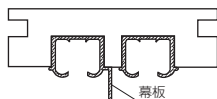
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

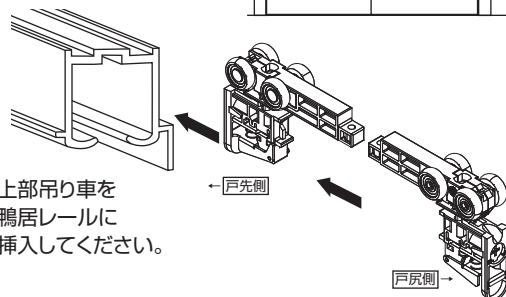
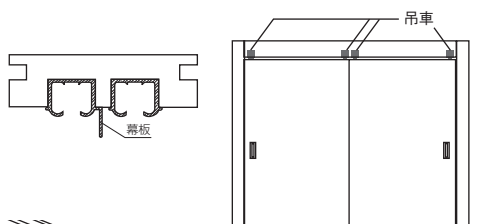
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向
けて取り付けてください。引き違い戸で
は片方のレールには幕板はつきません。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

① 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



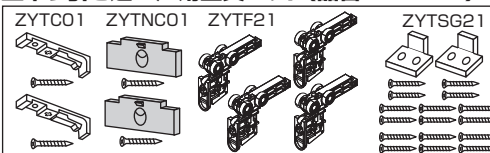
⚠ 注意

レール取り付け後に吊り車の向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。



<同梱品>

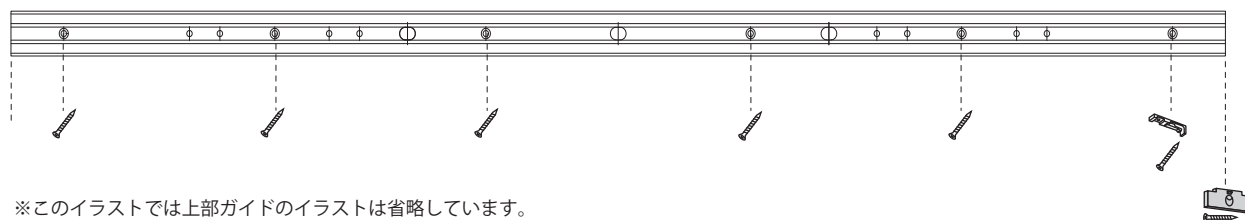
上吊り引き違い戸用金具セット (品番:ZYTHM)



←引手側 A



引手側 B→



※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

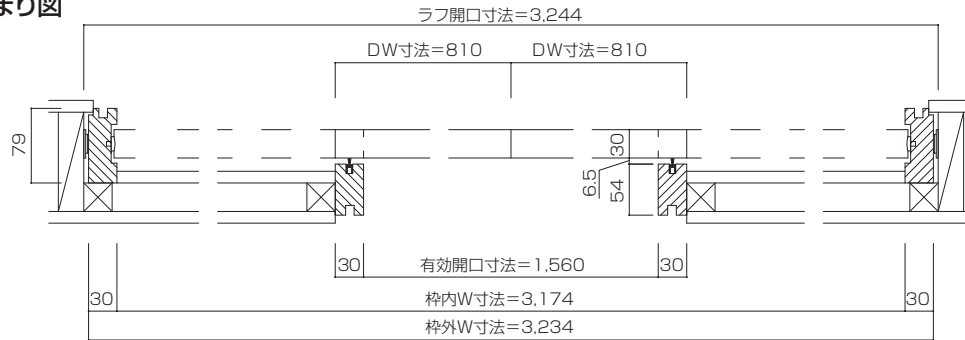
【引き分け戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

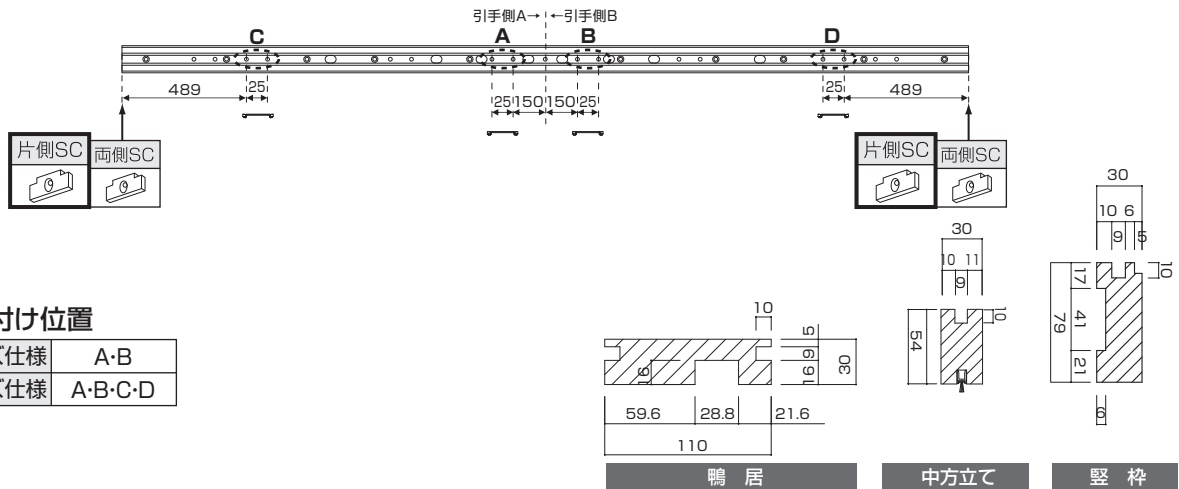
横断面図

■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



■レール詳細図



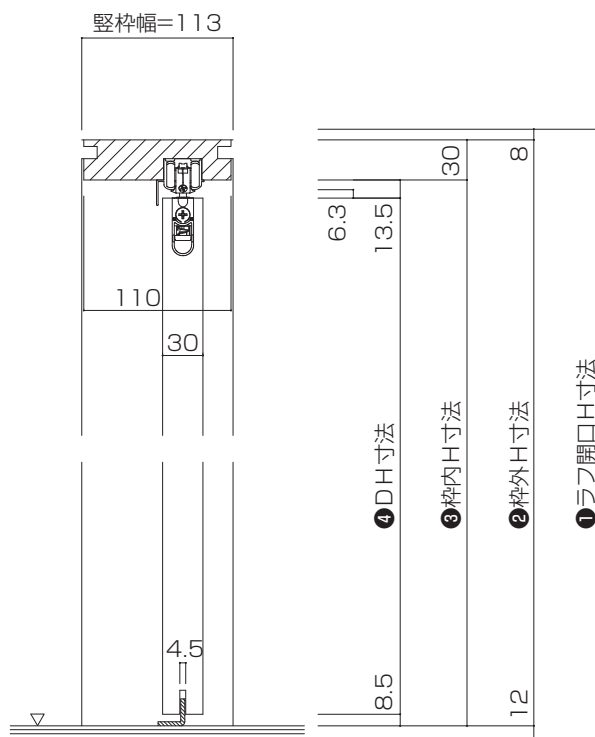
■トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D

※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

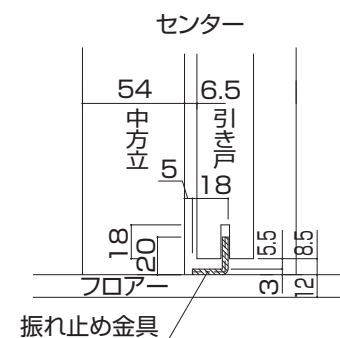
縦断面図

(単位:mm)



製品寸法	H20 DH1,983	H22 DH2,183	H24 DH2,348
①ラフ開口寸法	2,055	2,255	—
②枠外H寸法	2,035	2,235	2,400
③枠内H寸法	2,005	2,205	2,370
④DH寸法	1,983	2,183	2,348

振れ止め金具取り付け位置

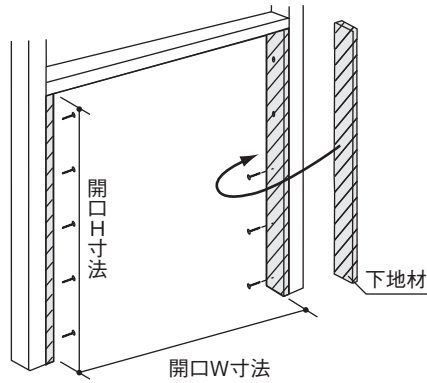


施工手順

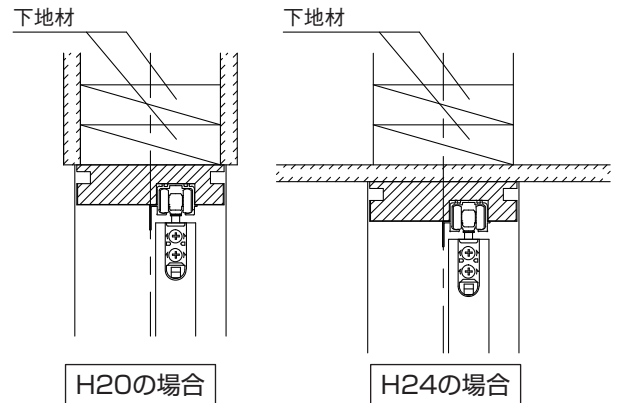
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



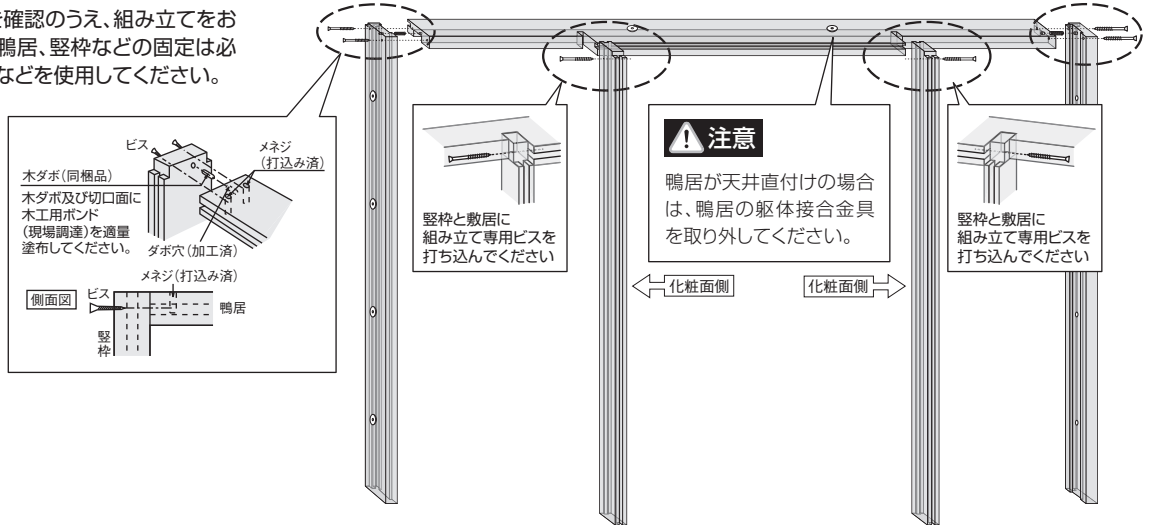
⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。



2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

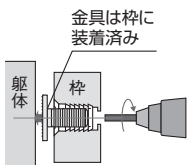
4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

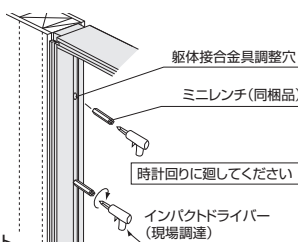
① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する



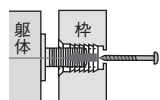
同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。



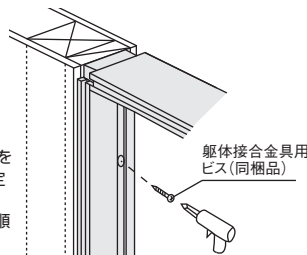
⚠ 注意 インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



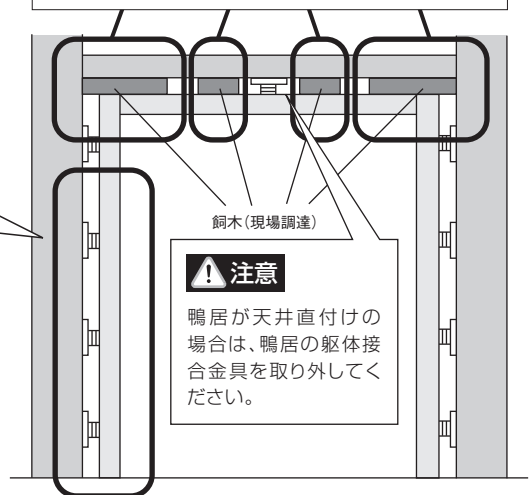
枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。

※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



⚠ 注意

鴨居が天井直付けの場合は、鴨居の躯体接合金具を取り外してください。

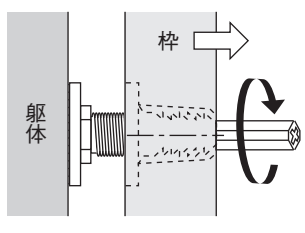
4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 竖枠を固定後、水準器などを使用し、竖枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、竖枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

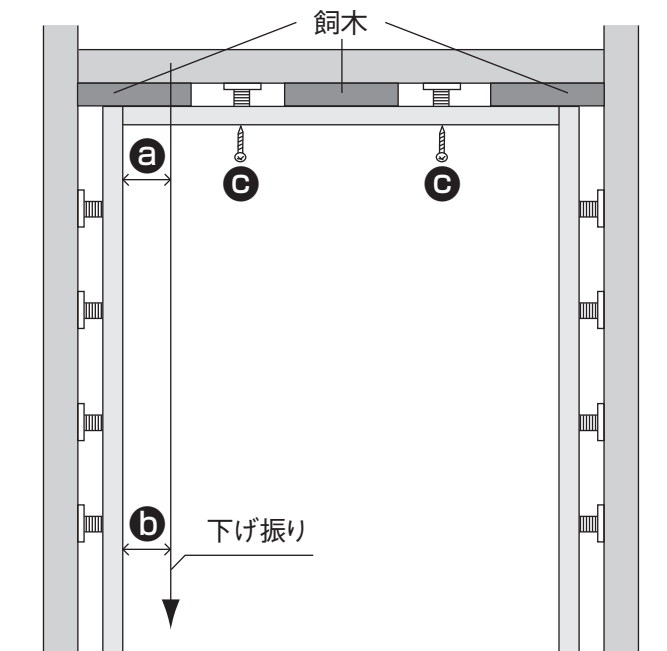
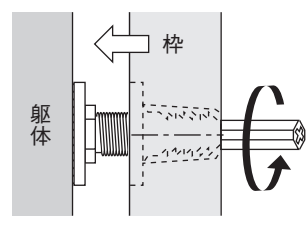
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

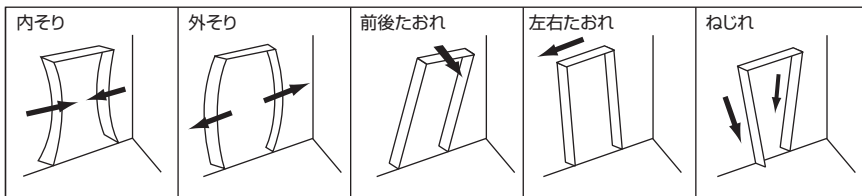


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

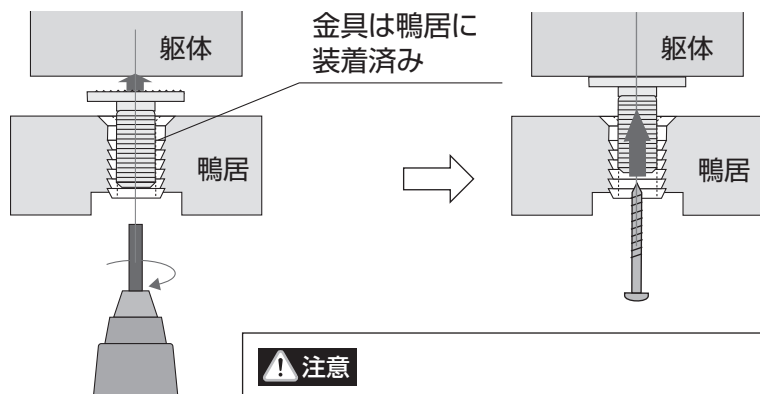


※下記の様なことがないようにご注意ください。



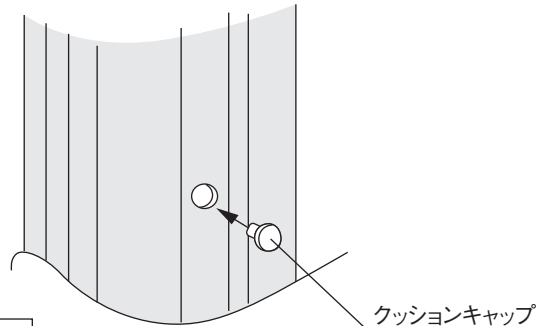
- ② **c** は建りを調整後、最後に固定してください。
竖枠と同様の手順で鴨居を固定します。

- ③ 竖枠を調整後、ビス穴に
クッションキャップを取り付けます。



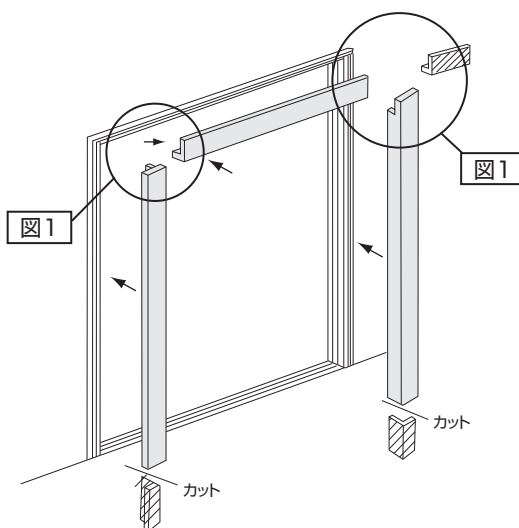
注意

躯体接合金具を外した場合は、別の箇所にてビス固定してください。
※レールが入るため、ビス頭が飛び出さないようご注意ください。



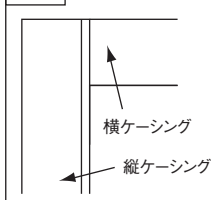
5 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整し
カットしてください。
寸法を調整したケーシングを木工用
ボンド(現場調達)を使用し、
取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

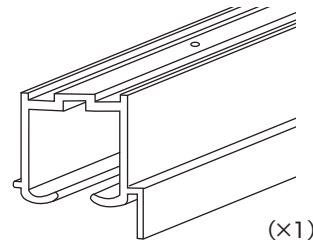


6 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

幕板付きの鴨居レール(アルミレール)になります。



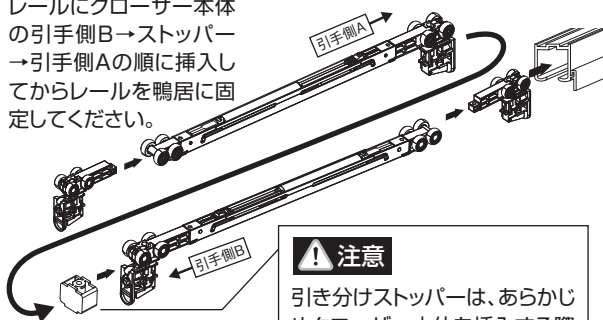
■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。吊車を挿入した後、鴨居レールを枠にとりつけてください。

片側ソフトクローズ 仕様 標準

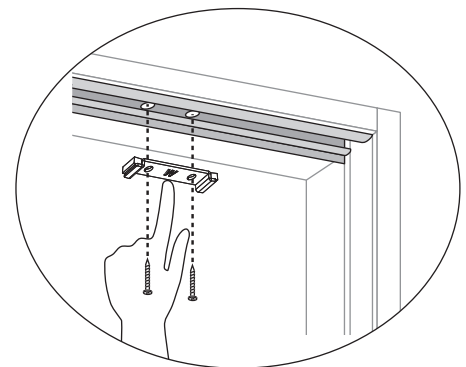
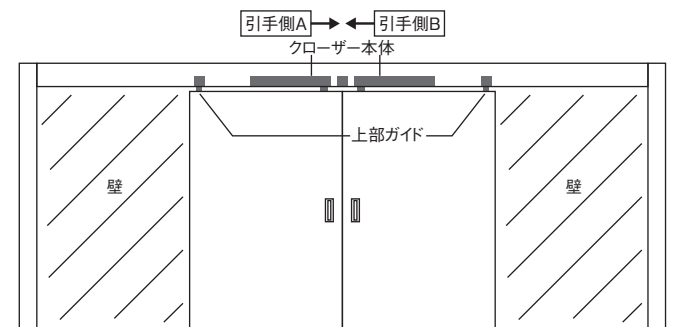
①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

レールにクローザー本体の引手側B→ストッパー→引手側Aの順に挿入してからレールを鴨居に固定してください。



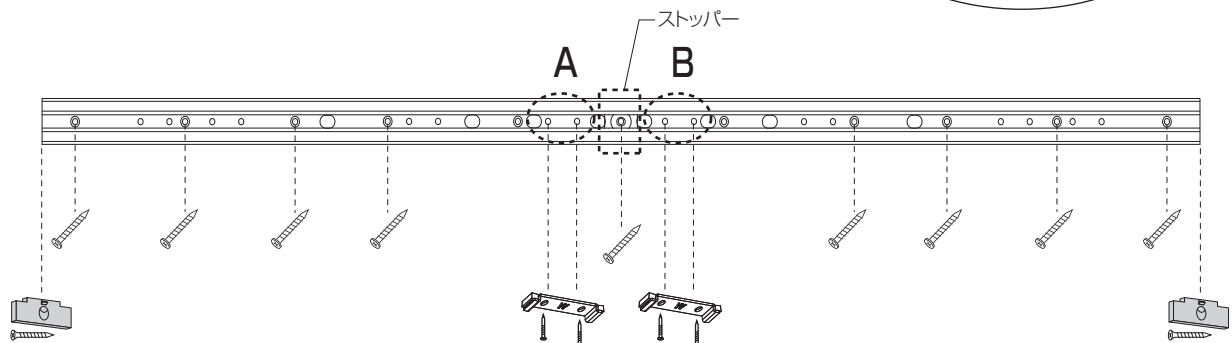
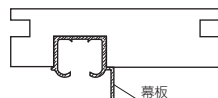
⚠ 注意

引き分けストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



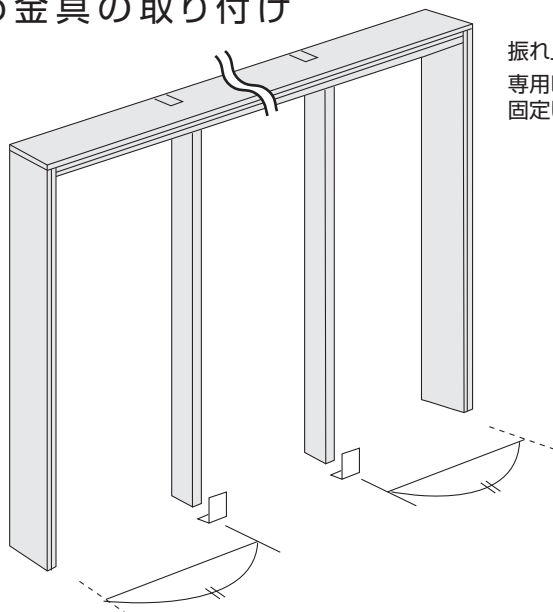
②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



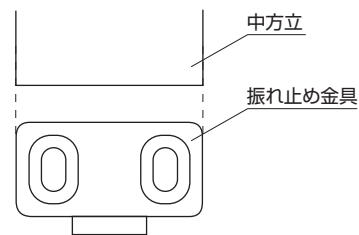
※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

7 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアーに
固定してください。

5mm

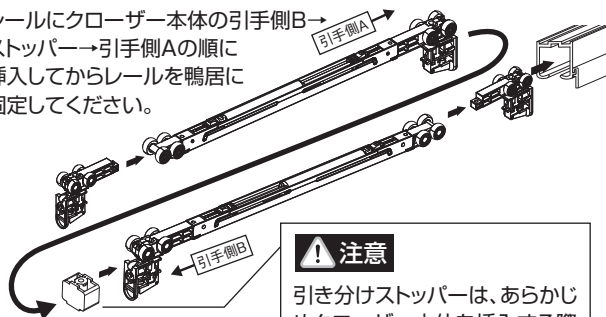


両側ソフトクローズ 仕様 オプション

①クローザー本体とレールの取り付け

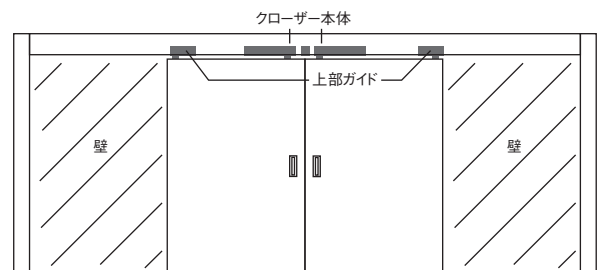
クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。

レールにクローザー本体の引手側B→
ストッパー→引手側Aの順に
挿入してからレールを鴨居に
固定してください。



⚠ 注意

引き分けストッパーは、あらかじ
めクローザー本体を挿入する際
にレール内に入れておき、レール
鴨居取り付け後に、下図の位
置にビスにて固定をお願い致し
ます。

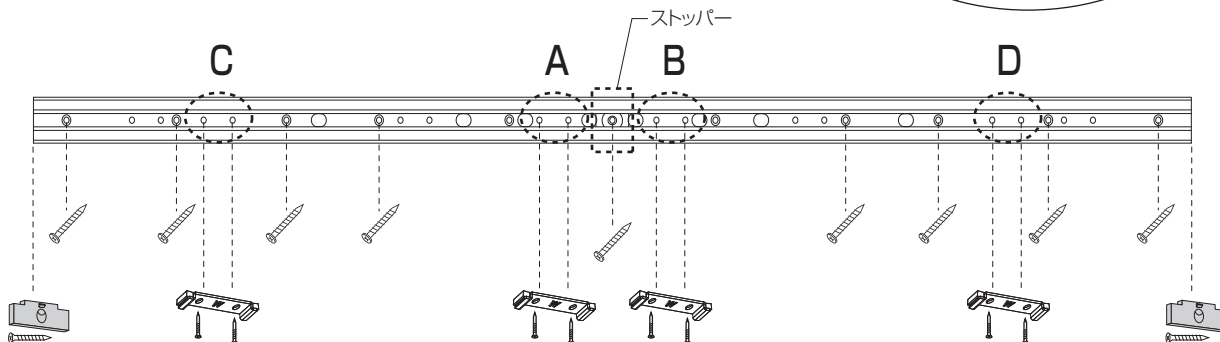
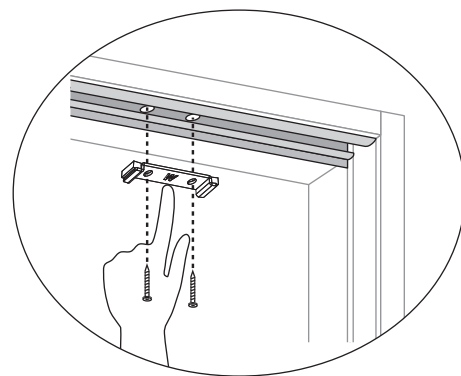
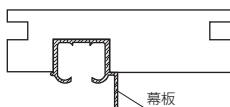


⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法により
スライダの種類が異なる場合があります。

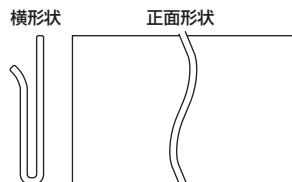
②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯
側に向けて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

オプション 幕板カバー

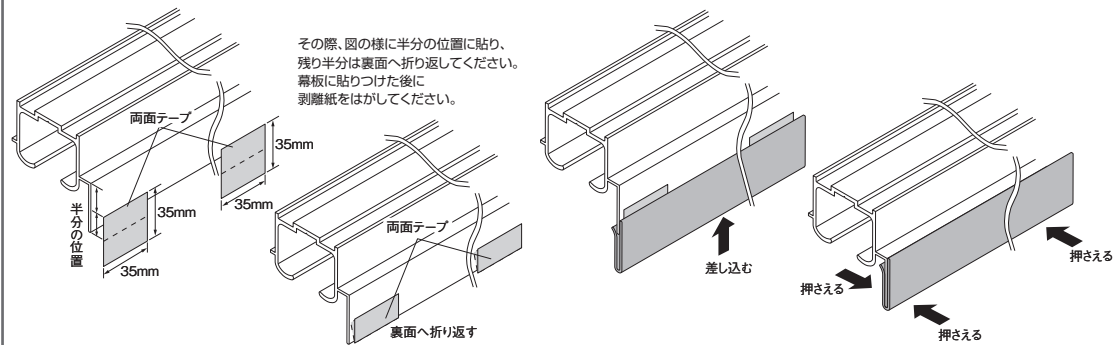


品番	引き戸用幕板カバー材	
品名	ZYFM18-□	ZYFM36-□
サイズ	1,800×20×3	3,600×20×3
備考	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ1シート 両面テープは 35×35mm6枚/1シート	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ2シート 両面テープは 35×35mm6枚/2シート

取り付け方法

① 幕板に付属の両面テープを貼ります。
(レールの両端に貼り、あとは均等に貼ってください。)

② 幕板カバーの長さをカットし、幕板に差し込み、全体を指で押さえて
両面テープにしっかり固定してください。



施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

